

笑えて、泣けて、するする頭に入る 超現代語訳 幕末物語
(幻冬舎単行本)

房野史典
bouno fuminori

超現 幕

笑えて、泣けて、
するする頭に入る

「圧倒的に面白い」「わかりやすい」と評判の日本史芸人が書いた、運命の幕末ドラマ。

ネットでも評判！
歴史の先生、
お墨付き！

ヒーロー多すぎ。悲劇続きすぎ。想定外ありすぎ。幕府は「オワコン」だった!?! 超フクザツな時代も、これ一冊でバツチリわかる。

幻冬舎

発売日: 2018年8月22日

出版: 幻冬舎

著者: 房野史典

ページ: 360

PDF

歴史の先生も大絶賛!

マンガみたいに読めて、ドラマよりもワクワクの、幕末ドラマ。
ヒーロー多すぎ、悲劇続きすぎ、“想定外”ありすぎで、超フクザツな幕末が、ここまで面白
くなりました!

初の著書にして大評判の『笑って泣いてドラマチックに学ぶ 超現代語訳
戦国時代』に続く、笑って泣けるキング・オブ・ドラマ。教科書では読めない、裏話や面白
エピソードが満載です。

「名前は知ってたけど、実はこんなことしてたの?」「一気に時代が動いた、その全体像が
ようやくつかめた!」「悲劇が多すぎる!涙無しに読めない!」と、連載中から大評判。

<https://k2s.cc/file/627570ae40373/R8K7D2guA.pdf.rar>